

令和3年度 学校法人盛岡学園みなみ幼稚園 教諭自己評価

対象 教諭10名 経験年数 3年～29年（平均14.1年）

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
I	保育の計画性				
1	園の教育理念・教育方針の理解	10	90	0	0
2	幼稚園教育要領・保育所保育指針の理解	10	70	20	0
3	教育課程の編成と評価	50	50	0	0
4	指導計画の作成	40	60	0	0
5	環境の構成	30	70	0	0
6	保育と計画の評価・反省	10	90	0	0
<p style="text-align: center;">上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <p>◎教育要領を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができるようにすること。</p> <p>◎教育課程を踏まえて指導や活動の内容を確認しているが、育ち→教育課程の評価という形でサイクルしていくこと。</p> <p>◎行事を経験したあとの活動やあそびにつながりをもたせること。</p>					
II	保育のあり方、幼児への対応				
1	健康と安全への配慮	100	0	0	0
2	幼児のみとりと理解	20	80	0	0
3	指導とかかわり [心のよりどころとして]	80	20	0	0
4	〃 [遊び・活動の援助者として]	30	70	0	0
5	保育者同士の協力・連携	40	60	0	0
<p>◎子どもの育ちや背景を理解しながら、どのような関わりが必要かを考えながら保育にあたること。</p> <p>◎一人ひとりの幼児が、保育者の見えないところで活動したり遊んだりする様子を観察すること。</p> <p>◎コロナ禍の中での、育ちを考えた保育内容、様々な経験の機会、異年齢交流、園児と保育者のスキンシップなど。</p>					
III	保育者としての資質や能力・良識・適正				
1	専門家としての能力・良識・義務 [専門家としての能力]	30	60	10	0
2	〃 [良識とマナー]	80	20	0	0
3	〃 [義務]	50	50	0	0
4	組織の一員としての在り方	50	50	0	0
5	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	30	70	0	0
<p>◎保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけること。</p> <p>◎保護者に対し、幼児のことを分かりやすく伝えること。</p> <p>◎社会情勢や保育の知識などをもっと積極的に感じ取るようにすること。</p>					

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
IV	保護者への対応・守秘義務				
1	情報の発信と受信	20	80	0	0
2	協力と支援	80	20	0	0
3	守秘義務の遵守	100	0	0	0
4	対応上のマナー・良識	40	60	0	0
5	クレームへの対応の仕方	70	30	0	0
<p>上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <p>◎コロナ禍で保護者の行事への参加が難しい状況において、幼児の様子を分かりやすく伝える方法。</p> <p>◎保護者に対して丁寧な対応を心がけているつもりでも、それぞれの受けとめ方についてさらに考えること。</p> <p>◎各家庭の養育方針等の把握をすること。</p>					
V	地域の自然や社会とのかかわり				
1	地域の自然・人々とのかかわり	30	70	0	0
2	小学校との連携・接続	20	60	20	0
3	地域の特徴を生かした保育の展開	0	80	20	0
<p>◎小学校の教育内容について理解するよう努めること。</p> <p>◎コロナ禍で、卒園生や地域の人々との交流、小学校との連携など、例年のような行事のもち方や活動ができないことも多かった。制限がある中でできることを話し合いながら進めていくことを今後も大切にしていきたい。</p>					
VI	保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度				
1	研修・研究への意欲・態度	10	90	0	0
2	遊具・教材に関する専門性の向上	40	60	0	0
3	園内の環境に関する専門性の向上	0	60	40	0
4	今日的課題に関する専門性の向上	40	60	0	0
5	自ら高めるための学習	50	30	20	0
<p>◎園舎の構造や保育室・体育館などの位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか理解すること。</p> <p>◎園庭や砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かすこと。</p> <p>◎研修会の中止で他園の情報を知る機会がもてず、集まりが困難な場合でもやりとりできる方法など。</p> <p>◎保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動など。</p>					